

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6252
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	医療法関係業務		
目的	(1) 対象	医療機関	
	(2) 意図	適切な医療を提供するため医療機関の法適合性を確保する。	
事業概要	県民に適切な医療を提供するため、医療法に基づき、①医療法人や医療機関の許認可、②医療審議会の設置・運営、③医療施設利用状況等の定例報告、④医療監視、⑤医療安全相談などを行う。		

2. 成果参考指標

(1)	指標名	医療監視の検査項目遵守率（病院）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		98.20	98.20	98.20	98.20	
式・定義	適数/対象項目×100		実績値	98.20	98.90	98.60	98.60		%
			達成率		100.70	100.40	100.50		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	14,400	10,411
うち一般財源(千円)	13,978	9,949

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

医療法の基準に基づく、許認可、立入検査の実施により、医療施設の法適合性を確保することができた。県民からの医療相談に対応し、広く医療関係者に情報提供を行うことで医療サービスの向上につながった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

医療法に基づく適切な指導を実施している

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
特になし
- ②困っている状況が発生している「原因」
特になし
- ③原因を解消するための「課題」
特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

医療法に基づく適切な指導を継続して実施する。医療安全センター事業として、研修、啓発事業を実施する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）